



MLP ウィークリー

2017年4月第3週号(2017年4月18日発行)

2017年4月14日時点

(1週間前=4月7日、前月末=3月末、前四半期末=3月末、前年末=2016年12月末)

なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

■先週のS&P MLP 指数の動き

先週のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前週末比▲2.0%と3週ぶりの下落となりました。10日(月)は、リビア最大級のシャララ油田が再び操業停止したことやロシアがOPEC(石油輸出国機構)主導による減産延長を視野に入れていると示唆したことを受け、原油価格は大きく上昇したものの、MLPは、中東や東アジアにおける地政学的リスクが意識される中、ほぼ横ばいとなりました。11日(火)は、サウジアラビアが減産延長を支持するとの期待感などから原油価格は続伸したものの、MLPは、EIA(米エネルギー情報局)の短期見通しにおいて、2017年の天然ガスの需要予測が引き下げられたことなどが嫌気され下落しました。12日(水)は、EIAの週間統計において、米原油生産が8週連続での増加となったことを受け、原油価格が反落したことなどから、MLPは続落しました。13日(木)は、原油価格は、需給改善期待などを背景に小幅反発したものの、MLPは、地政学的リスクが意識される中、米国株式市場とともに下落しました。14日(金)はグッドフライデーの祝日のため休場でした。

■主要指標の動き

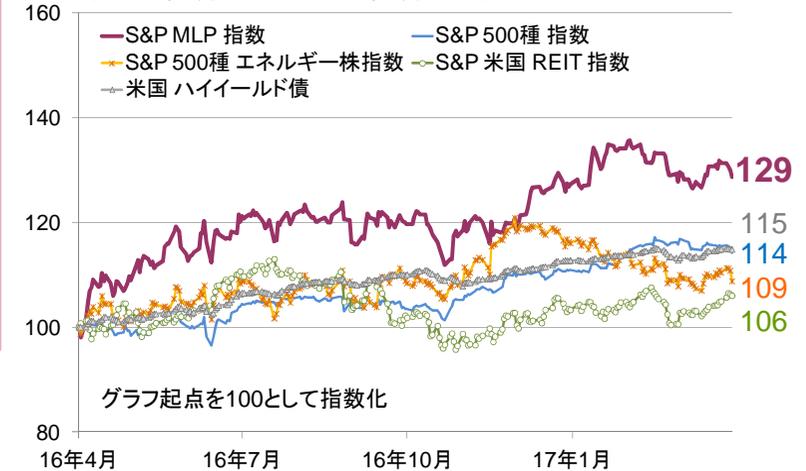
* 過去1年(2016年4月14日~2017年4月14日)

	指数値 2017/4/14	騰落率				過去1年*	
		週間	前月末比	前四半期末比	前年末比	高値	安値
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,955.04	-2.0%	-1.5%	-1.5%	2.1%	5,220.31	3,774.32
プライスリターン	1,769.19	-2.0%	-1.5%	-1.5%	0.4%	1,874.92	1,448.88
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,477.07	-1.1%	-1.3%	-1.3%	4.6%	4,595.73	3,781.02
プライスリターン	2,328.95	-1.1%	-1.4%	-1.4%	4.0%	2,395.96	2,000.54
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	863.69	-1.5%	-0.9%	-0.9%	-7.5%	959.65	783.94
プライスリターン	509.40	-1.5%	-0.9%	-0.9%	-8.1%	569.85	475.25
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,217.18	1.0%	2.0%	2.0%	2.6%	1,297.23	1,099.20
プライスリターン	318.03	1.0%	2.0%	2.0%	1.5%	349.03	292.58
米国ハイイールド債(BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・マスターII・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,209.40	-0.0%	0.3%	0.3%	3.0%	1,211.78	1,052.77
プライスリターン	78.33	-0.1%	0.0%	0.0%	1.2%	79.06	72.68
米国10年国債利回り	2.23%	-0.15	-0.15	-0.15	-0.21	2.62%	1.35%
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり	53.18	1.8%	5.1%	5.1%	-1.0%	54.45	39.51
天然ガス(ヘンリーハブ) 米ドル/百万btu当たり	2.99	-6.4%	-3.6%	-3.6%	-18.8%	3.76	1.72
米ドル(対円)	108.58	-2.3%	-2.5%	-2.5%	-7.2%	118.18	99.89

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■過去1年の指数の推移(米ドルベース/トータルリターン)

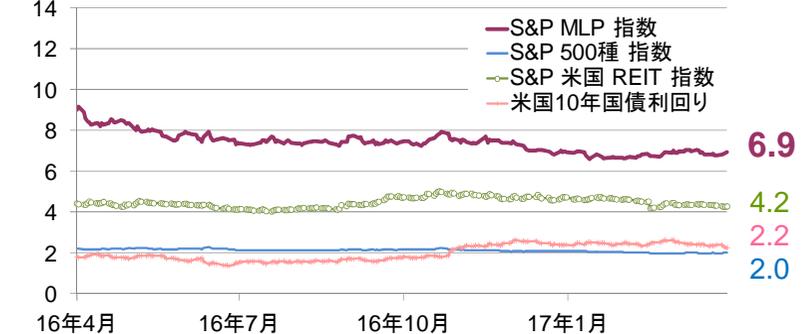
(2016年4月14日~2017年4月14日)



グラフ起点を100として指数化

■各資産の利回り

(%) (2016年4月14日~2017年4月14日)



※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

facebook twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。